

水道局

総務課

工務課

浄水課

(新浄水施設整備室)

# 組織力の発揮

# 水道局 総務課

## 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する。

## 価値を提供する上で、解決すべき課題

事業推進に必要な資金の確保

## 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
(社)日本水道協会 大阪広域水道企業団 運営協議会 東水協 出納取扱金融機関等 フジ地中情報(株) NEC(株)	企業会計経理 契約に関すること	水道事業年報 水道使用者情報	企業会計システム 水道料金システム 水道メーター	財政計画 第6次拡張事業計画

## 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある		
顔が見える (関係づくり)		
協働する (それぞれができること、 役割分担)	関係部署との連携	住民基本台帳に基づく転出入者等の確認
挑戦する あきらめない	企業会計システムの改善	問題点の抽出、先進市の情報収集
創造する 新たな工夫		
持続する	分かり易い企業会計 市外転出者に対する未収金の回収	公営企業会計制度の把握 持続的な訪問により未収金の回収に努める

## 課の資源を有効に活用するための取組現状と 28 年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:B (現状:B)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底 (課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:B)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:B)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:B)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:C (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		健全な運営を持続する「水道」						
部課等名	水道局 総務課							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	おおおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める。							
施策の目的	安心・安全な水道水を給水する「水道」 健全な運営を持続する「水道」							
根拠法令	水道法 地方公営企業法							
関連条例	交野市水道事業給水条例							
関連計画	第6次拡張計画、水安全計画							
要綱等	給水装置工事施行基準							
業務マニュアル								
ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東水協							
施策の目標	28年度	施策目的を適切に達成するため、事業経営の安定性を確保する。						
	27年度	施策目的を適切に達成するため、事業経営の安定性を確保する。						
行政内の目標	28年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
	27年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
財源見込み	国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 0 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウト ット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 企業会計事務	資金の管理・運用及び人事・庁舎管理等	直	法定	—	—	—	264,032 千円 168,759 千円 207,293 千円	
2 水道料金の徴収	メーターの検針・調定・料金の徴収	委直	法定	—	料金回収率	100.0% 99.9% 99.8%	43,740 千円 40,383 千円 40,392 千円	

水道局庁舎



# 組織力の発揮

# 水道局 工務課

## 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する。

## 価値を提供する上で、解決すべき課題

老朽管の更新・基幹管路の耐震化の推進  
指定給水装置工事事業者(指定業者)の資質の向上

## 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(社)日本水道協会</li> <li>・大阪広域水道企業団運営協議会</li> <li>・東水協</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木工事及び管工事の設計積算</li> <li>・産業廃棄物処理</li> <li>・工事監督</li> <li>・導送配水管の維持管理</li> <li>・計画使用水量の決定及び水理計算</li> <li>・給水装置の構造及び性能</li> <li>・漏水の調査及び修理</li> <li>・探知機による埋設管の探査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管布設状況(各種管弁類管理)</li> <li>・耐震性貯水槽設置状況</li> <li>・緊急用資器材保有状況(管、弁類等)</li> <li>・水道使用者各戸の配管状況</li> <li>・貯水槽水道の設置状況</li> <li>・水道使用者各戸の鉛管使用状況</li> <li>・給水装置工事の申込状況</li> <li>・給水装置工事事業者の申請・施工状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急用資器材(管弁類)</li> <li>・災害対策用設備(テント、ブルーシート、ウォーターホッケー、給水タンク、緊急用浄水装置)</li> <li>・ストックヤード(残魂・残土)</li> <li>・量水器新規取付</li> <li>・貯蔵資材(管、弁類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛管撤去計画</li> <li>・老朽管更新計画</li> </ul>

## 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある		
顔が見える(関係づくり)		
協働する(それぞれができること、役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道・市土木及び他企業との重複工事</li> <li>・近隣市との災害時緊急連絡管の整備・協定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時期に施工</li> <li>・近隣市との情報交換</li> </ul>
挑戦するあきらめない	老朽管の更新及び基幹管路の耐震化を進め、災害に強い水道の構築	管理システムの構築
創造する新たな工夫		
持続する	「水道週間」等を通じ、おいしい水道水のアピール	取組の充実

## 課の資源を有効に活用するための取組現状と28年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:B (現状:B)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底(課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:B)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:A)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:B)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:B (現状:B)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		安心・安全な水道水を安定に給水する「水道」						
部課等名	水道局 工務課							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	おいおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める							
施策の目的	安心・安全な水道水を給水する「水道」							
根拠法令								
関連条例								
関連計画	・鉛管撤去計画・老朽管更新計画							
要綱等								
業務マニュアル								
ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東水協							
施策の目標	28年度	交野市水道台帳整備及び管理システム(アセットマネジメントを含む)の構築						
	27年度	基幹管路耐震化率の向上						
行政内の目標	28年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
	27年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
財源見込み	国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 0 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウトプット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 基幹管路の耐震化	耐震管の布設	委	選	—	耐震化率	41% 38% 35%	205,080 千円 133,920 千円 189,691 千円	
2 鉛管の撤去	給水鉛管の取替	委	選	—	残存率	25% 26% 28%	3,888 千円 7,776 千円 6,480 千円	

耐震管の敷設作業の様子



「星の里浄水場」



# 組織力の発揮

## 水道局 浄水課・新浄水施設整備室

### 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する

### 価値を提供する上で、解決すべき課題

第6次拡張事業(私市ポンプ場築造)の推進

### 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(社)日本水道協会</li> <li>・大阪広域水道企業団運営協議会</li> <li>・東水協</li> <li>・関西水道水質協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理技術</li> <li>・施設運転、維持管理</li> <li>・送配水運用</li> <li>・廃棄物処理技術</li> <li>・電気主任技術者</li> <li>・エネルギー管理</li> <li>・危険物取扱者</li> <li>・水質管理・検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場運転管理情報</li> <li>・水質試験成績(原水・浄水・企業団水・給水等)</li> <li>・水質試験計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道施設(深井戸、浄水場、配水池)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次拡張事業</li> </ul>

### 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある	水道水の広報の場が限られ、もっと幅広い年齢層に知ってもらう必要がある	広範な広報活動が出来る様な方法を模索していく
顔が見える(関係づくり)	市民の貴重な資源である地下水のアピール	HP 及びイベントを通じた地下水の有用性のアピール
協働する(それぞれができること、役割分担)	他課との連携の強化	マッピングシステムを活用した情報の共有化
挑戦するあきらめない	環境にやさしい「水道」	高効率モーター採用の送水ポンプの更新
創造する新たな工夫	効率の良い(省エネ)浄水処理、送配水運転	浄水処理工程ごとの水質管理の強化により、浄水処理の運用方法の検討、見直し 送水ポンプの更新、台数制御運転
持続する	地下水を安定的に永続して提供する	深井戸の改修等の維持管理

### 課の資源を有効に活用するための取組現状と 28 年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:B (現状:B)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底(課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:B)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:A)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:C)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:B (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
部課等名	水道局 浄水課・新浄水施設整備室							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	おおおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める							
施策の目的	安心・安全な水道水を給水する「水道」 安定して給水する「水道」 環境にやさしい「水道」							
根拠法令								
関連条例								
関連計画	第6次拡張事業計画、水安全計画、水質試験計画							
要綱等								
業務マニュアル	浄水場運転管理マニュアル、SOP(水質試験標準作業書)							
ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東水協、関西水道水質協議会							
施策の目標	28年度	市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する						
	27年度	市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する						
行政内の目標	28年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
	27年度	安心・安全な水道水を安定的に給水する「水道」						
財源見込み	国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 0 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウト ット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 第6次拡張事業	施設の更新	委	選択	—	進捗率	100% 80% 60%	403,500 千円 403,500 千円 188,000 千円	
2 浄水施設維持管理	適正な浄水施設の管理	一部委託	選択	—	—	—	453,413 千円 453,726 千円 355,876 千円	
3 水質検査の実施	水の安全確保	一部委託	法定選択	—	—	—	25,196 千円 23,017 千円 18,473 千円	

